

憲法改悪許すな！ジェンダー平等貫き地域の公共回復 第34回定期大会を開催、新議長に荻原圭子さんを選出



山形県労連は九月三日、第三四回定期大会を開催し、二〇二二年度運動方針および予算をはじめとする諸議案を採択しました。

勝見忍議長はあいさつで、コロナで亡くなった方々の冥福を祈り、療養中および豪雨災害被災者へのお見舞いの意を表したうえで、わずかながら都市部との格差を縮め、山形審議会の答申の付帯決議に県労連の要請が反映した最賃闘争、フーンドライブなどコロナ禍から暮らしを守る取り組み、衆院選ではじめて野党統一候補と政策合意した政治闘争の三つの前進面について詳しく述べました。

そのうえで、組織拡大で前進することが一つの重要課題だと強調しました。また、すべての方針にジェンダー視点を貫くこと、地域の『公共』を取り戻すこと、強まる改憲の動きに反撃するたたかいの三点を重視することを呼びかけました。

二〇二二年度運動方針案

発行責任者 佐藤 完治
山形市薬師町2-6-15
TEL 023(615)2172
FAX 023(615)2173
URL: <http://www.yamagataroren.com/>
Email: yamagataroren@yahoo.co.jp

を提案した佐藤完治事務局長は、加盟組織が地域の運動に結集し、要求運動と組織拡大の両方で前進するために様々な運動が展開された一年を振り返り、フーンドライブの利用者で次回ポランティアを引き受けてくれている人たちとの結びつきの重視など、同様の地域運動を強化するためのポイントを中心に述べました。荻原圭子新議長をはじめ、女性三人を含む新しい役員体制が確立されました。



荻原圭子新議長

来賓のみなさん

大会には、以下の皆さんが来賓としてかけつけ、激励・連帯のあいさつをされました。



全労連 常任幹事・公共局長 香月 直之さん

大会で選出された第34期役員

議長	萩原 圭子	全山教組
副議長	東海林 良二	山形地域労連
副議長	松木 静雄	年金者組合
事務局次長	佐藤 完治	県労連幹事会
事務局次長	成田 龍雄	医療生協やまがた労組
幹事	五十嵐 葉月	福祉保育労
幹事	梶原 拓	本間病院労組
幹事	工藤 幸博	全山教組
幹事	笹原 武	山形地域労連
幹事	鈴木 優子	山形医労組
幹事	深瀬 光広	県国公
幹事	船見 悠	鶴岡田川地域労連
幹事	星 遼太	共立社労組
幹事	矢萩 孝一	建交労
幹事	渋谷 啓一郎	年金者組合
会計監事	平野 勝澄	地域労組やまがた



参議院議員 芳賀 道也さん



西川町 教育長 前田 雅孝さん (町長の代理)



山形県医労連 書記長 上田 潤さん



東北労働金庫 山形県本部 本部長 丹野 忍さん



自由法曹団 山形支部 弁護士 土田 文子さん



日本共産党 山形県委員会 委員長 本間 和也さん

要求の当事者とともに運動も組織も前進を 大会での代議員の発言の要旨をご紹介します。



学ぶ大切さ広げたい

山形学生ユニオン(地域労組やまがた学生分会) わんヌさん(ペンネーム)
二〇二二年五月に学生ユニオンは発足し活動してきた。アルバイト学生にも労働者の権利があることを知り、学ぶ大切さを知った。これを広めるため、第二回ユニオンカフェの成功めざす。

参加したくなる活動を

医療生協やまがた労組 佐藤さん

核兵器廃絶に関する請願、鶴岡市議会での自公反対により否決され残念。生理用ナプキン普及運動にも取り組んだ。組合員が参加したいと思う運動をすることが大切と考えている。

雇用の安定など求めて

山形公共一般 海老名さん

会計年度任用職員アンケートを実施し多数回答を得た。雇用継続が最大の要求だった。回答者に案内して「しゃべり場」を実施した。これを要求実現や組織化につなげていきたい。

教育予算増額急務

全山教組 福岡さん

小学校では午前中に五校時までやる授業編成で、子どもが落ち着かない。「学校はブック」と教員志望者が減り、四月に担任が決まっていないクラスも。教育予算の少なさが根本問題。

深刻な相談あいつぐ中で組合結成も

JMITU 飯澤さん

ブラック企業アンケートには深刻な相談・告発次々。労働相談センターへの相談を機に新しい労働組合が結成されている。自動車共済の契約拡大などの活動にもぜひ協力を。

生活できる年金急いで

年金者組合 小野さん

物価高騰も年金下げるマクロスライドで生活に困窮する高齢者が増える。最低基準であるべき生活保護費には教養娯楽費、交際費が抜け、憲法が保障する健康で文化的な水準ではない。

雇止め・不正ただせ

山大職組(県国公) 西岡さん

大学では労働契約法の無期転換ルールの特例で有期契約通算五年でなく一〇年にあたる二〇二三年三月末に雇止め問題が生ずる。不正・パワハラ問題についての取り組みも続ける。

保育士ふやして

福祉保育労 五十嵐さん

保育現場での監査緩和には反対。保育士配置基準改善引き続き求める。テレビに子守させる保育や子どもの詰込みではダメ。現に国基準より多く配置する各園独自の努力を見てほしい。

コロナの経営難克服めざす

山生協労組 岩淵さん

コロナ禍の中、学生はキャンパスに戻りはじめているが、生協の経営は引き続き厳しい。これを克服し、今後雇用が再度増えたら、組合員拡大も目指したい。

以上の他に二つの文書発言がありました。それぞれ、「わくわく講座の受講に力を入れるべきだ」「勝見忍さんが議長を退任するなら顧問に選出してほしい」という内容でした。

【お詫びとお願ひ】九月以降の事務局体制の大幅な変更により、機関紙「やまがた県労連」の発行が一時停滞してしまったこととお詫び申し上げます。編集体制を再編成し、月一回程度の発行テンポを回復することを目指していますので、引き続きご理解・ご協力をお願い申し上げます。(山形県労連事務局)